

2025 年 5 月 28 日

教育・研究基盤を支える専門人材のためのエフォートテーブルの提案

国立大学法人 機器・分析センター協議会

令和 4 年 3 月に文部科学省から「研究設備・機器の共用推進に向けたガイドライン」が示され、各大学の教育・研究基盤である研究設備・機器を支える「専門性を有する人材」の必要性・重要性は広く認知されることとなりました。また令和 7 年 4 月には「科学技術人材多様化ワーキング・グループ」が設置され、これら人材の人事制度のガイドラインの制定に向けて、議論がなされています。

教育・研究基盤を支えるこれらの専門人材がプロフェッショナルとして専門性を最大限に発揮するとともに、スキルの向上やキャリアパスの形成がなされ、各大学等の教育・研究力の強化に効果的に資するためには、教育・研究基盤を支えるための「ミッションの明確化」とこれらミッションに基づいた「役割・業務に応じた適切な評価」がなされることが必要不可欠であると当協議会では考えています。

今回提案するエフォートテーブル中では、教育・研究基盤を支える専門人材のミッションを「基盤強化」業務として新たに定義し明確化し、従来業務と合わせて「エフォート」を記入する欄を設けました。また「基盤強化」業務として位置づけられる種々の業務内容についても例示をして明確化し、それぞれのミッションの重み付けができるよう「ウエイト」を記入する欄を設けてあります。このエフォートテーブルが各大学等の立場や考え方に合わせて適宜改変され、専門人材特有の各種業務に対して、それらの成果に基づいた業績評価を行うためのツールとして活用されることが期待されます。

・センター教員向けエフォートテーブル

多くの大学等においては、統括部局や機器分析センター等の共用設備・機器の管理・運用を担う部局に専任的に配置された大学教員（以下「センター教員」）が、専門的知見を活かし、日常的に多くの時間と労力を研究基盤の整備・運用等の業務（以下「基盤強化」業務）に充当することで、共用体制の維持と高度化に大きく貢献しています。一方で、センター教員は、教育・研究に重きを置いた一般的な学部所属の教員と同等の指標で業績評価されることが多く、センター教員に特有の「基盤強化」業務に対する評価が十分に反映されていない事例も見受けられます。

本エフォートテーブルは、一般的な大学教員の業績評価項目に加えて、センター教員特有の「基盤強化」業務を新たに位置づけたものです。センター教員の主たる職務である基盤

整備・共用支援等の業務に適切なエフォートが配分されることにより、これらの業務に対する業績評価が明確かつ適正に行われることを目指しています。また、本エフォートテーブルの活用を通じて、センター教員が専門性を活かし、やりがいを感じながら職務に従事できる環境が各大学において整備されることが期待されます。

・技術職員向けエフォートテーブル

大学等における技術職員においては、統括部局や機器分析センター等の共用設備・機器の管理・運用を担う部局に専任的に配置され、センター教員と連携して高度な技術支援を主たる業務とする方がいる一方で、学部等に所属し授業の補助や学生実習等の教育支援を主たる業務とする方もいます。また、設備・機器運用の効率化や利用促進を担うマネジメント業務に従事する方、あるいはこれらを兼務する方もおり、「技術職員」という職種の下に多様な職務内容が存在しています。このように、技術職員の職務内容は画一的なものではなく、全ての技術職員が適切に業績評価されるためには、各人の実際の職務に応じたエフォート配分が個別に設定されることが求められます。また、評価の実施にあたっては、技術職員の業務内容と専門性を理解し、評価が可能な「適切な評価者」を選定するとともに、事前に技術職員と評価者との間で職務内容（ミッション）を明確化し、相互理解のもとで評価を行う体制を整備することが重要です。

本提案では、センター教員向けエフォートテーブルと同様に、「基盤強化」業務に関する項目を設定するとともに、技術職員と評価者がエフォート配分の調整・確認を行うための欄を設けています。各大学等の実情や技術職員の専門性に応じた適切なエフォートが設定され、相互理解に基づく評価体制が整備されることにより、全ての技術職員の職務に即した適切な業績評価が行われる環境が、各大学等で構築されることが期待されます。

センター教員向けエフォートテーブル

		エフォート		ウエイト	業務内容例
1	教育	0%			
2	研究	0%			
3	組織運営	0%			
4	社会貢献	0%			
5	診療	0%			
6-1	基盤強化	0%	共用設備運営・管理業務	0.00	共用設備の日常メンテナンス、共用設備の不具合対応、共用設備の利用ルール策定等
6-2			教育・研究支援業務	0.00	ユーザー対応（操作指導・マニュアル作成・クレーム対応等）、ユーザーからの研究相談対応（測定技術相談・論文投稿のフォロー等）、機関内ユーザーが機関外の設備の利用するための支援、受託分析の実施、分析技術の研究開発等
6-3			教育研究基盤（統括部局）運営業務	0.00	事務業務（予算管理、入退室管理、予約システムの管理、利用実績集計作業、ホームページ管理、業務采配等）、機関外者が共用設備を利用するためのコーディネート、会議、スタッフミーティング、学内文書や文科省からの調査対応、実績の取りまとめ、資料化、組織運営の効率化改善等
6-4			設備マネジメント戦略業務	0.00	設備戦略の策定（マスタープラン等への寄与）、設備の性能・機能に関する情報収集、設備のニーズ調査、設備導入効果・利用実態の解析、文科省プロジェクトへの申請作業、設備戦略の学内調整等
6-5			プロモーション業務	0.00	学内利用促進（説明会や公開実習等の企画・開催、最新情報の提供、ホームページ整備、他部局との連携体制強化、産学連携推進、学外イベントへの参加等
6-6			その他の基盤強化に関わる業務	0.00	
	エフォート合計	0%	ウエイト合計	0	

技術職員向けエフォートテーブル

		自身の希望する エフォート	評価者の望む エフォート	最終的なエ フォート		自身の希望する ウェイト	評価者の望む ウェイト	最終的なウェイト	業務内容例
1	教育支援	0%	0%	0%					
2	研究	0%	0%	0%					
3	組織運営（技術部等）	0%	0%	0%					
4	社会貢献	0%	0%	0%					
5	診療	0%	0%	0%					
6-1	基盤強化	0%	0%	0%	共用設備運営・管理業務	0.00	0.00	0.00	共用設備の日常メンテナンス、共用設備の不具合対応、共用設備の利用ルール策定、共用設備の消耗品の管理、設置環境の維持・管理（空調管理、掃除等）
6-2					教育・研究支援業務	0.00	0.00	0.00	ユーザー対応（操作指導・依頼分析・マニュアル作成・クレーム対応等）、ユーザーからの研究相談対応（測定技術相談・論文投稿のフォロー等）、機関内ユーザーが機関外の設備の利用するための支援
6-3					技術研鑽・スキルアップ業務	0.00	0.00	0.00	自らで分析技術の研究開発、関連資格の取得、研究会・関連学会等の聴講（技術セミナー等の受講等）、研究会・関連学会等での発表・講演、競争的研究資金等への応募・採択
6-4					教育研究基盤（統括部局）運営業務	0.00	0.00	0.00	事務業務（予算管理、入退室管理、予約システムの管理、利用実績集計作業、ホームページ管理、業務採配等）、機関外者が共用設備を利用するためのコーディネート 人事・採用・評価、会議、スタッフミーティング等の開催・参加、学内文書や文科省からの調査対応、協議会等への参画、組織運営効率化・業務改善
6-5					設備マネジメント戦略業務	0.00	0.00	0.00	設備戦略の策定（マスタープランへの寄与・学内外への予算要求等）、導入設備の機種選定、導入設備の性能・機能に関する情報収集、導入設備についてのニーズ調査、設置要綱確認と施設工事対応、仕様書作成・仕様策定委員会・技術選定委員会等
6-6					プロモーション業務	0.00	0.00	0.00	学内利用促進（説明会や公開実習等の企画・開催、ホームページ整備等）、学外利用促進（説明会や公開実習等の企画・開催、ホームページ整備、産学連携推進、学外イベントへの参加等）
6-7					その他の基盤強化に関わる業務	0.00	0.00	0.00	
	エフォート合計	0%	0%	0%	ウェイト合計	0	0	0	